

ベトナム沖15-2鉱区 累計原油生産量2億バレル達成について

各位

当社(社長:三宅 俊作)が出資する日本ベトナム石油株式会社(以下「JVPC」という。)は、オペレーターとしてベトナム沖15-2鉱区にて原油を生産しておりますが、本年7月に、同鉱区の累計原油生産量が2億バレル^(※)に達しましたのでお知らせします。

(※)2億バレルは、日本国内で消費される原油のおよそ43日分に相当します。

この累計原油生産量2億バレル達成を記念し、11月17日(月)にベトナムハノイ市内のホテルにおいて、三宅社長、和佐田取締役常務執行役員(JVPC社長)、大橋執行役員ベトナム事務所長(JVPCベトナム事務所長)などの当社関係者が出席し、ベトナム政府や同国国営石油会社の要人臨席のもと、記念セレモニーを開催しました。

当社はベトナムをコア事業国の一つと位置付けており、今後も同国での石油・天然ガス開発事業に積極的に取り組んでまいります。

1. ベトナム沖15-2鉱区の概要

JVPCは、15-2鉱区権益の46.5%を保有し、パートナーのPVEP社(ベトナム国営石油会社PetroVietnamの子会社:17.5%)、Perenco Rang Dong社(仏系石油開発会社 Perenco社の子会社:36%)とともに、開発・生産活動を行っています。

同鉱区では、1992年10月の権益取得以降、JVPCがオペレーターとして探鉱活動を実施し、1994年6月、試掘1号井でランドン油田を発見しました。その後、評価・開発作業を経て1998年8月から生産を行っています。また、2008年9月には同鉱区内のフンドン油田でも生産を開始し、現在は両油田での生産を行っています。

なお、同鉱区の権益期間については、JVPCおよびパートナー各社によるこれまでの貢献がベトナム政府に評価されるとともに、HCG-EORプロジェクト^(※)を実施するため、昨年、ランドン油田部分が5年間延長され、2025年4月までとなっています。

(※)HCG-EORプロジェクト:炭化水素ガス(hydrocarbon gas)を油層に圧入することにより原油の増進回収(Enhanced Oil Recovery)を図るプロジェクト。

2. 日本ベトナム石油株式会社の概要

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| (1)代表者 | 取締役社長 和佐田 演慎 |
| (2)所在地 | 東京都千代田区大手町二丁目6番3号 |
| (3)設立年月日 | 1992年8月21日 |
| (4)事業内容 | ベトナムにおける石油・天然ガスその他鉱物資源の探鉱、開発および採取 他 |
| (5)資本金 | 22,530百万円 |
| (6)株主構成 | JX日鉱日石開発(株):97.1%、三菱商事(株):2.9% |

3. 記念セレモニーの様子



写真:挨拶を行う三宅社長



写真:出席者による記念撮影

【本件に関するお問い合わせ先】

JX日鉱日石開発株式会社 総務部 総務グループ 〒100-8163 東京都千代田区大手町二丁目6番3号 TEL:03-6275-5241